

世界チョコレート成績表の採点方法

2022年版世界チョコレート成績表は、主要な持続可能性問題に関してチョコレート企業をランク付けし、評価するものです。チョコレート・コレクティブは、[ビー・スレイバリー・フリー](#)がまとめ役となり、チョコレート産業の変革に従事する大学、コンサルタント、市民社会グループが参加しています。この研究は、オーストラリア・シドニーのマッコリー大学、オープン大学（イギリス）HREC/4275/ベルナルディ、ウーロンゴン大学HREC、プロジェクト名：世界チョコレート成績表、番号：2022/009による、世界チョコレート成績表（プロジェクトID 10917, 2022）というプロジェクト名のもと、人間研究倫理委員会のガイドラインに従って実施されています。

ご参加いただいた企業の皆様、お時間を割いていただいたスタッフの皆様に感謝いたします。

この調査は、チョコレートのサプライチェーンに関わる企業が、持続可能性の成果を向上させるための方針や実践の進展度合いを対象としています。世界チョコレート成績表は、主要な持続可能性の課題に関するスコアを企業に伝え、将来的により高いスコアを目指し、自社の方針と実践をさらに改善する方法について、企業と生産的な対話ができるように作成されました。また、これらの企業から購入するチョコレートの持続可能性に関する情報を求めている消費者や、企業の成果を理解しようとしている投資家や株主にとっても、有益な情報源となります。

1. 参加とデータ収集

アンケートを作成し、参加企業として選ばれたすべての企業に送付しました。2022年、世界チョコレート成績表に参加したのは合計38社でした。選ばれた企業には、業界最大手のカカオ取引業社やチョコレートメーカーがすべて含まれており、さらに小規模で革新的な企業もありました。これらの企業を合わせると、世界のカカオの80~90%を占めています。これらの企業は、人々や地球に大きな犠牲を払わせることもあれば、大きなプラスの影響を与えることもあります。

アンケートを送った後、ゼネラル・ミルズ、スターバックス、ストークの3社が不参加を選択しました。不参加は透明性の欠如と見なしました。私たちは、チョコレート製品を販売するすべての企業が、私たちが求めている情報を提供できるはずであり、消費者や投資家は、チョコレートがどのような条件下で生産されているかを知る権利があると信じています。参加企業への支援を行いました。調査チームは、説明ビデオを作成し、世界チョコレート成

績表の 6 部門ごとに Google ドライブに資料を集め、企業とのグループ質疑応答の Zoom 会議（異なるタイムゾーンで実施）や、企業との個別ミーティングを実施し、質問に答えました。27 社の企業が、調査チームの一部または全員と個別に会うことを選択しました（一部は複数回）。また、成績表チームは、企業との E メールでのやり取りを数多く行いました。

2. 質問事項の作成

調査対象は以下の 6 部門です。①トレーサビリティ（追跡可能性）と透明性、②生計維持所得、③児童労働、④森林破壊と気候、⑤ アグロフォレストリー（混農林業）、⑥農薬管理（殺虫剤）。これらは、今日のチョコレート業界が直面している最も緊急で重要な持続可能性の問題であることから選ばれました。

3. 採点方法

採点は厳格に行われ、何段階かの採点と入念な調査が行われました。一貫性を持たせるために、調査チームの 6 人のメンバーはそれぞれ 1 部門を担当し、全企業を対象に採点しました。企業の回答およびその採点は、内密に次の者に送られました。1) チョコレート業界の持続可能性に関する専門家による採点。2) 各分野の専門家による採点。回答が不明確な場合、および/または、提供された URL が壊れていたり、関連性のないものであった場合は、企業に対して明確な説明を求めました。すべての採点と専門家からのフィードバックは調査チームが受け取り、最終的な決定を下しました。

各企業は、個々の部門ごとに「カラスコア」を受け取りました。そして、その各部門のスコアを合計して「総合スコア」を決定しました。ある部門のスコアが低いと、特定の課題に対するスコアが低いだけでなく、企業全体のスコアが下がる可能性があります。これは、同じようなカラーを持つ企業でも、最終的なスコアが異なることがあるということの説明になります。

この業界が進化しており、一部の企業は持続可能性の面で、これまで以上に良い業績を上げているということを認めるために、昨年よりも採点のハードルを引き上げました。最も業績の良い企業が改善するにつれて、業界のリーダーと見なされるために必要なことも進化しています。

4. 各部門の説明

4.1 トレーサビリティ（追跡可能性）と透明性

もし企業が自分たちのカカオがどこから来たのかを知らなければ（トレーサビリティの問題）、カカオが児童労働や森林破壊、またはその他の腐敗行為によって汚染されていないことを本当に保証することはできません。このトレーサビリティの透明性がなければ、市民社

会は企業に責任を負わせることができません。このように、透明性のあるトレーサビリティは、他のすべての改革にとって重要な基盤となっています。トレーサビリティと透明性は総スコアの 20%を占めています。この部門については、以下の分野で回答を分析しました。

1. トレーサビリティの方法。
2. 直接調達と間接調達の両方における、協同組合および農場レベルでのカカオのトレーサビリティと、トレーサビリティのないカカオの量。
3. トレーサビリティと透明性のために使用されている証明やその他の方法（企業独自のプログラムなど）
4. 協同組合/サプライチェーンを含む、追跡可能なサプライチェーンに関する企業の報告の透明性、および児童労働が発見された場合の報告。

以下の質問を採点しました

質問	得点
<p>貴社の直接的および間接的なサプライチェーンでトレーサビリティが確立できている割合と、その方法を教えてください。貴社の豆の総量(数量)のうち、何パーセントが<u>協同組合レベルまで追跡可能</u>ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会社のプログラム（認証を含み得る）を通じて ● 認証プロセスのみを通じて ● 貴社の調達先の加工業者、生産者、貿易業者を通して ● 間接的、非公式または未組織のサプライチェーン（Pisteurs（仲買人）） 	<p>80-100%で 3 点 50-80%で 2 点 20-50%で 1 点 0-20%で 0 点</p>
<p>貴社の直接的および間接的なサプライチェーンでトレーサビリティが確立できている割合と、その方法を教えてください。貴社の豆の総量(数量)のうち、何パーセントが<u>農園の門まで追跡可能</u>ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会社のプログラム（認証を含み得る）を通じて ● 認証プロセスのみを通じて 	<p>80-100%で 3 点 50-80%で 2 点 20-50%で 1 点 0-20%で 0 点</p>

質問	得点
<ul style="list-style-type: none"> ● 貴社の調達先の加工業者、生産者、貿易業者を通して ● 間接的、非公式または未組織のサプライチェーン (Pisteurs (仲買人)) 	
<p>貴社は、直接のサプライチェーンにおいて、カカオを調達しているすべての協同組合のリストを公表していますか？</p>	<p>「はい&URL で確認済み」の場合は 3 点 「いいえ、ただし要求があれば情報を提供する」の場合は 1 点 「いいえ」の場合は 0 点</p>
<p>貴社の<u>直接的なサプライチェーン</u>において、農家から小売店まで 100%のトレーサビリティを実現する目標期日を設定していますか？</p>	<p>100%のトレーサビリティで 3 点 2025 年以前の目標年次で 2 点 2025 年以降の目標年次で 1 点 「なし」の場合は 0 点</p>
<p>貴社の<u>間接的なサプライチェーン</u>において、農家から小売業者まで 100%のトレーサビリティを実現するための目標期日を定めていますか？</p>	<p>トレーサビリティ 100% (つまり、サプライチェーンがすべて直線で繋がっている) で 3 点 2025 年以前の目標年度で 2 点 2025 年以降の目標年次で 1 点 「なし」の場合は 0 点</p>
<p>貴社は、直接のサプライチェーンで購入するカカオが、実際に主張された場所から来たものであることを検証できますか？</p>	<p>「はい」の場合は 2 点 「いくらか」の場合は 1 点 「いいえ」の場合は 0 点</p>
<p>貴社は農薬に関する包括的な方針を公表していますか？</p>	<p>「はい&URL で確認済み」の場合は 2 点 「いいえ」の場合は 0 点</p>
<p>貴社のサプライチェーンで監視、禁止および/もしくは制限されている活性物質のリストを公表していますか？</p>	<p>「はい&URL で確認済み」の場合は 2 点 「いいえ」の場合は 0 点</p>
<p>トレーサビリティと透明性に関して、貴社が</p>	<p>革新的で野心的なプロジェクトや目</p>

質問	得点
追加で記載したい情報があればご記入ください。	標、および/または、業界において強いリーダーシップを発揮している企業は、4点の得点が可能

4.2 生計維持所得

生計維持所得とは。

「ある特定の場所の世帯が、その世帯を構成している全員に適正な生活水準を提供するために必要な純年収です。

適正な生活水準とは、食料、水、住居、教育、医療、交通、衣服、その他必要なもの、不測の事態への備えなどです。」

西アフリカのカカオ農家とその家族は、このような状況にはありません。彼らは極度の貧困の中で生活しており、飢餓や栄養失調、健康危機、児童労働を含む多くの社会的課題に対してより脆弱な立場に置かれています。生活所得のスコアは全体の20%を占めています。一部の農家はすでに生計を立てているかもしれませんが、大半の農家はそうではありません。カカオの低価格がもたらす大きな苦しみと、現在進行中の重要な改革を考慮し、生活所得の問題については、全体部門を設けました。この部門では、3つの領域で回答を分析しました。

1. 西アフリカおよび世界のカカオに生活所得基準価格（フェアトレード、VOICE ネットワーク、または同等かそれ以上の価格のいずれかを設定）を支払う方針、および/または、よく計算し、仕入れ先の農家に追加の奨励金を支払う（または支払っている）ことを約束していること。
2. 調達先の地域社会と協議の上決定した農民の生活所得を達成するため、および/または、貧困に対処するための企業プログラム。および、
3. そのようなプログラムの影響を測定し、結果を共有すること。

最も高いスコアを獲得したのは、以下のような企業でした。

- そのプログラムを基準とするために、実際の生活所得計算（種類は問わない）を使用している。および/または、
- ガーナ政府、コートジボワール政府が定めた生活所得格差（LID）や認証済み奨励金に上乗せして農民に支払っている。および/または、
- 調達先の地域社会と協議の上決定した開発プロジェクトに投資している。

質問	得点
----	----

生計維持所得基準価格を算出していますか？これは、農家が生計を維持できる収入を得るために必要な 1 トンあたりの豆の価格のことです。

「はい」の場合は 2 点
 価格が算出された国、および生活所得基準価格を受け取っている農家の割合を明記した場合、1 点のボーナスあり
 「いいえ」の場合は 0 点

貴社の直接的なサプライチェーンにおいて、農家の収入を増やすために、他にどのようなメカニズムが使われていますか、また、農家の収入の何パーセントがそのメカニズムでカバーされていますか（分かれば）。

それぞれ「はい」の場合は 2 点
 対象農家の割合に応じて加点。
 60%まで 0.25 点
 61-80%で 0.5 点
 81-100%で 1 点

- 農家に対する教育（収入多様化を含む）、%（分かれば）
- 環境教育（森林破壊、アグロフォレストリー、化学物質使用）、%（分かれば）
- 農作物の収穫量を増やすためのプログラム、%（分かれば）
- その他 - 具体的に、%（分かれば）を記入してください。

カカオ農家を支援するために、貴社は他にどのようなプログラムや活動を行っていますか。また、これらのプログラムの対象になっている農家は、調達先の農家の何パーセントですか（分かれば）。

それぞれ「はい」の場合は 1 点
 農家を含む割合に応じて加点。
 60%まで 0.25 点
 61-80%で 0.5 点
 81-100%で 1 点

- 児童労働防止教育、%（分かれば）
- 子どもたちのための学校、%（分かれば）
- きれいな水、%（分かれば）
- 衛生設備、%（分かれば）
- 女性のエンパワーメントプログラ

質問	得点
----	----

- ム, % (分かれば)
- 栄養プログラム, % (分かれば)
- その他 (具体的にご記入ください) % (分かれば)

貴社の取引先・調達先のカカオ農家の平均的な世帯収入 (または世帯収入に関するデータ) を貴社は把握していますか?	すべて「はい」の場合は4点 「はい」「いくらか」の場合は1点、50%以上でボーナス1点 「いいえ」の場合は0点
--	---

貴社は、電子決済システムなど、農家への支払いを確認できる方法を採用していますか?	「はい」の場合は2点 監査システムのみを使用している場合は1点 「いいえ」「いいえ、ただし調査中」の場合は0点
--	---

生計維持所得について、貴社として追加で記載したい情報があればご記入ください。	革新的で野心的なプロジェクトや目標、および/または、業界において強いリーダーシップを発揮している企業は、4点もの得点が可能
--	---

4.3 児童労働

米国労働省が資金提供した [NORC の最終報告書：コートジボワールとガーナのカカオ生産地域における児童労働削減の進展の評価](#) (NORC レポート 2020) によると、

- カカオ生産において、児童労働にさらされている子どもは 156 万人 (コートジボワールの約 79 万人、ガーナの約 77 万人を含む)
- 148 万人の子どもたちが、カカオ生産において、少なくとも 1 つの危険な児童労働の要素にさらされている。
- 農薬への曝露は、2008/09 年から 2018/19 年にかけてより広がり、農薬にさらされる子どもの割合は、2008/09 年から 2018/19 年の間に、累計で 5% から 24% へと約 5 倍に増加した。

企業の自主的な取り組みにより、その撲滅が約束されているにもかかわらず、[児童労働の割合は過去 10 年間で 14% 増加しています](#) (カカオの生産量の増加に伴い)。調査は行われて

いませんが、新型コロナウイルス感染症は、経済、サプライチェーン、学校への影響をさらに拡大し、児童労働にさらされる機会も増やしている可能性があります。貧困や、極端に低い収入、子どもたちが児童労働や危険な児童労働にさらされることの間には因果関係があります。これらの子どもたちは、未来を奪われ、虐待されています。特にイースターやハロウィンの時期には、チョコレートが子どもたちの楽しみになることが多いことを考えると、なおさら恥ずべきことです。

私たちはこの部門について、3つの分野で回答を分析しました。

1. 児童労働方針、監視・是正システム、またはそれに相当するもの（児童労働監視改善システム - CLMRS）
2. CLMRS の対象となる農場の割合。および、
3. 児童労働に対処するためのプログラムやプロセスを拡大する計画の有無。

CLMRS は、児童労働への対策として最も効果的な方法の1つと考えられています。

しかし、一部の企業では、具体的な介入による児童労働への取り組みはまだ初期段階であり、長期的な効果を評価するのは時期尚早です。

- NORC レポート（2020年）では、有害な農薬にさらされる児童労働者の数が大幅に増加し（10%から27%）、負傷、健康への影響、必要な治療のレベル（入院を含む）が増加していることが明らかにされました。（5.2.6節、79-88頁参照）子どもの化学物質への曝露は、「最悪の形態の児童労働」と見なされています。

質問	得点
貴社には児童労働および最悪の形態の児童労働（奴隷労働、人身売買）の防止、監視、是正に関する方針がありますか？	「はい」の場合は1点、「URLで確認済み」の場合はボーナス1点 「いいえ」の場合は0点
極度の貧困は、子どもが児童労働の状況に置かれる主な要因であると認識されています。このような状況が判明した場合、貴社のプログラムまたはスキームは、家族に割増金を支払うことを規定していますか？	「はい」の場合は4点 「いいえ」の場合2点（制服や収入源を増やすための支援など、現物支給のみ） 「いいえ」の場合は0点
貴社のサプライチェーン内のカカオ農家の世帯のうち、子どもが児童労働の状況にあることが判明した場合に、その状況に対処	90-100%で3点 60-90%で2点 60%以下は1点

質問	得点
<p>するためのプログラムやスキームの対象になっているのは何パーセントですか？</p>	<p>%が指定されていない場合は0点</p>
<p>貴社の児童労働を防止、監視、是正するためのプログラムまたはスキームに関して、以下の数値を記入してください。対象となる子どもの数（つまりコミュニティ内の子どもの総数）</p>	<p>0より高い数値の場合は2点 公開を示す URL の記載があればさらに2点</p>
<p>貴社のプログラムやスキームが児童労働の状況を減少させていることに関してどのような証拠がありますか？</p>	<p>レポートが社外か社内か、数字を記録しているか実際のインパクトレポートか、調査が行われたのは最近かによって、最大3点まで</p>
<p>NORC の最終報告書「コートジボワールとガーナのカカオ栽培地域でのカカオ生産における児童労働削減の進捗状況評価」では、有害な農薬にさらされる児童労働者の数が大幅に増加（10%から27%）しており、怪我や健康への影響、必要なケアのレベル（入院を含む）も増加していることが明らかになりました（5.2.6項、79-88頁を参照）。子どもたちが化学物質にさらされることは、「最悪の形態の児童労働」とみなされています。</p> <p>貴社は、子どもの農薬への曝露を監視、低減または排除するための方針を策定していますか？</p>	<p>「はい」の場合は2点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>児童労働について、貴社として追加で記載したい情報があればご記入ください。</p>	<p>革新的で野心的なプロジェクトや目標、および/または、業界において強いリーダーシップを発揮している企業は、4点の得点が可能</p>

4.4 森林破壊と気候

カカオは世界の森林破壊の主な原因となっています。西アフリカは世界のカカオの 75%を生産しており、コートジボワールとガーナが最大の生産国です。この 2 カ国は、[2018 年に森林破壊の割合が世界で最も増加したことを表す「ワールドカップ」を受賞しています](#)。この 2 カ国は過去 60 年の間にほとんどの森林を失っています。その数はそれぞれ全体の約 94%と約 80%でした。その森林喪失の約 3 分の 1 は、カカオ栽培のためのものでした。2020 年には、コートジボワールのカカオ栽培地域で [47,000 ヘクタールの森林が失われています](#)。アジア、アフリカ、中南米など、世界のほぼ全域でカカオが栽培されていますが、研究によると、カカオは[森林破壊につながり](#)、気候変動に悪影響を及ぼすことが分かっています。森林は炭素を吸収し、枯れると炭素を放出して、吸収源としての役割を果たせなくなります。そのため、このテーマでは、深刻な気候変動につながる世界の年間温室効果ガス (GHG) 排出量に対する、業界の貢献度にも焦点をあてています。

この問題に取り組むため、コートジボワールとガーナの政府、大手カカオ・チョコレート企業 35 社および農家は、「[カカオと森林イニシアチブ \(CFI\)](#)」を通じて、カカオによる森林破壊を終わらせるために協力しました。その後、コロンビアとカメルーンも同様の新しい構想を展開しましたが、[まだまだやるべきことはあり](#)、CFI はその約束を果たしていません。CFI のような森林への取り組み以外にも、チョコレート企業はさまざまな気候変動対策を行っており、特に最近の「ゼロへの競争」(総排出量ゼロを目指す)では、チョコレート部門が積極的に取り組んでいます。

このような膨大な課題だけでなく、その解決に向けた幅広い活動が評価され、森林破壊と気候変動への活動は[スコアの 20%](#)を占めました。

この部門については、以下の分野で回答を分析しました。

1. グローバル調達における非森林破壊方針の適用、および非森林破壊モニタリング制度を通じて購入したカカオの割合。
2. 2010 年以降の森林破壊地域から調達されたカカオの割合。
3. 2017 年の CFI 開始以降、森林破壊を行った人物から調達したカカオの割合。
4. 供給業社が最近伐採された土地からカカオを調達している証拠にどのように対応するかの詳細な計画。および、
5. 会社全体で、または、[科学的根拠に基づく目標](#)を用いて、純炭素排出量ゼロを達成するための方針。

質問

得点

貴社には森林破壊防止のための監視方針がありますか？

「はい、全地域対象」の場合は 2 点

質問	得点
	<p>「はい、ただし一部の地域/ブランドのみ」の場合は1点</p> <p>「いいえ」の場合は0点</p>
<p>貴社が購入するカカオの総量の何パーセントが森林破壊防止のための監視システムの対象となっていますか？</p>	<p>90-100%で3点</p> <p>60-90%で2点</p> <p>60%以下は1点</p> <p>%が指定されていない場合は0点</p>
<p>上記の監視システムは、人口衛星かGPSによる監視を利用していますか？</p>	<p>衛星マッピングとGPSマッピング両方で3点</p> <p>衛星マッピングで1点</p> <p>GPSマッピングで1点</p> <p>「なし」の場合は0点</p>
<p>貴社はサプライヤーや小規模農家と協力して、GPSを使った小規模農園のマッピングを決められた時期までに行う計画を立てていますか？</p>	<p>「はい」の場合は1点</p> <p>「URLで確認済み」の場合はさらに1ポイント</p> <p>「いいえ」の場合は0点</p>
<p>その会社が調達しているカカオの割合。 コートジボワール、および/または、ガーナから調達している場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2010年以降に伐採された地域は？ - 2017年11月（カカオと森林イニシアチブの発足）以降に森林伐採を行った人物/買い手/農家？ 	<p>0-10%で3点</p> <p>10-40%で2点</p> <p>40-100%で0点</p> <p>「URLで確認済み」の場合はさらに1点</p>
<p>他の地域から調達する場合、森林破壊地域からの調達を中止する目標期日はありますか？</p>	<p>「はい、すでに達成済み」の場合は3点</p> <p>「はい、ただし2025年以前の目標年次」で2点</p> <p>「URLで確認済み」の場合はさらに1点</p> <p>「いいえ」の場合は0点</p>

質問	得点
<p>貴社には、すべてのステークホルダーに開かれた苦情処理メカニズムと、それに関連して、特に森林破壊を含むコンプライアンス違反に対する会社の是正措置を追跡するための記録簿がありますか？</p>	<p>「はい」の場合は1点 「URL で確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>貴社には、森林破壊に関するコンプライアンス違反を理由とするサプライヤーの排除について規定した、期限付きの改善計画や閾値に関する期待値を明確に定義したコンプライアンス違反処方針がありますか。</p>	<p>「はい」の場合は1点 「URL で確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>会社として、炭素排出量を正味ゼロにするための方針を公表しているか。</p> <p>a. 調査範囲 1（企業が所有・管理する資源からの直接排出量）</p> <p>b. 調査範囲 2（購入したエネルギーの発電による間接排出量）</p> <p>c. 調査範囲 3（サプライチェーンにおける上下流の排出量 - 商品とサービスの購入、輸送と流通、農業由来の排出量、その他上記調査範囲 1、2 に含まれない領域など、企業の事業活動に関連するもの）</p>	<p>各部位について。</p> <p>「はい」の場合は1点 「URL で確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>森林破壊と気候変動対策に関して、貴社が追加で記載したい情報があればご記入ください。</p>	<p>革新的で野心的なプロジェクトや目標、および/または、業界において強いリーダーシップを発揮している企業は、4点の得点が可能</p>

4.5 アグロフォレストリー(混農林業)

カカオは世界中で森林破壊の主な原因となっていますが、逆に地球上の再緑化の要因になる可能性があります。農薬漬けの単一栽培とは対照的に、[アグロフォレストリー](#)はより生態学的により良いカカオの栽培方法であり、農地のランドスケープ（景観）を回復させるものです。科学的な研究により、アグロフォレストリーの健全なカカオ栽培は、炭素隔離や、土壌と空気中の水分保持、生物多様性の観点から、地球にとってより良いものであることが証

明されており、農家の食糧確保や収入の多様化にも良いという研究結果が出ています。正しく実施されれば、人と地球、農家と森林の双方に利益をもたらします。

アグロフォレストリーは、総合スコアの10%を占めています。この部門については、4つの領域で回答を分析しました。

1. アグロフォレストリーの方針とその定義。
2. アグロフォレストリーの方針の適用（世界規模、または西アフリカのみ）
3. アグロフォレストリーの方針の評価とモニタリング。
4. サプライチェーン内の農家が、アグロフォレストリーの栽培方法に移行するための支援と投資。

質問	得点
貴社にはアグロフォレストリーの方針がありますか？	「はい、全地域に適用」の場合は2点 「はい、ただし西アフリカにのみ適用」の場合は1点 「いいえ」の場合は0点
会社のアグロフォレストリーの定義によると、農場または農場グループに対して、 a. 自生植物を何%含むことが必要か b. 最低何%の樹冠被覆が必要か c. 1ヘクタールあたり最低いくつの樹種数が必要か	a. 90-100%で3点、60-90%で2点、60%以下で1点、それ以下は0点 b. 40%で3点、30%で2点、20%で1点、20%未満で0点 c. 20以上で3点、12-19で2点、4-11で1点、4未満で0点
貴社のサプライチェーン内の農家がアグロフォレストリー環境での栽培に移行する際、貴社は何らかのトレーニングや初期投資の支援を行っていますか？	「はい、完全な補償と研修」の場合は3点 「はい、若干の支援と研修」の場合は2点 「はい、研修のみ」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点
貴社は、アグロフォレストリー環境で栽培されたカカオの調達量を100%にする目標年度を定めていますか？	「はい」の場合は1点 「いいえ」の場合は0点

質問	得点
アグロフォレストリーについて、貴社が追加で記載したい情報があればご記入ください。	革新的で野心的なプロジェクトや目標、および/または、業界において強いリーダーシップを発揮している企業は、4点の得点が可能

4.6 農薬（殺虫剤）管理

私たちが経験している大量絶滅の危機は、その多くが農業における化学薬品に起因していることを考えると、チョコレート会社が農薬の使用に頼らない方法で現在の取り組み方を改革することが必要です。多国籍企業がカカオ豆を調達する際、化学物質の投入によって、生産性の向上させることが第一の目的であってはなりません。その業界が長続きすることや、近隣の河川に飲料や水源を依存することが多い農村の人々の健康、土壌の健康、そして地球全体の健康を最優先しなければなりません。企業は最も危険な農薬を完全に排除し、農薬の総使用量を減らす方向に進みつつ、農家の収穫高と収入を維持しながら、危険な化学薬品に依存した農法から脱却する努力を支援しなければなりません。企業は、接ぎ木や、剪定、手作業による受粉などの農薬を使わない方法や、最も適切な農業生態学の実践、総合的害虫管理（IPM）に関する教育を通じた、農家の収量向上を強調すべきです。

この部門については、3つの領域で回答を分析しました。

1. 農薬削減のための目標や方針が明示されているか。
2. サプライチェーンにおける有害農薬の評価と監視、および有害農薬の使用を段階的に削減するための措置。
3. 化学薬品によらない代替品の採用の支援。

質問	得点
貴社は、サプライチェーンにおける農薬使用量を削減する目標を公表していますか？	「はい」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点
貴社はカカオのサプライチェーンにおける合成農薬（殺菌剤、除草剤、殺虫剤、殺ダニ剤、殺鼠剤など）の使用に関する方針を定めていますか。	「はい」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点

質問	得点
<p>貴社は、カカオのサプライチェーンにおいて、どのように農薬暴露のリスクを低減または排除していますか？</p>	<p>2点まで</p>
<p>貴社にはサプライチェーンを通じて監視、禁止、または制限する活性物質のリストがありますか？</p>	<p>「はい」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>貴社はFAO/WHOが推進する非常に危険な農薬（HHP）に対するアプローチを用いて、禁止・制限・監視する活性物質を決定していますか？</p>	<p>「はい」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>過去2年間で、何らかの活性物質が、 a. 会社の監視リスト、禁止リスト、または制限リストに追加/削除されたか b. 会社の監視リスト、禁止リスト、または制限リストから別のリストへ移動したか</p>	<p>a. と b. で 「はい」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>貴社が段階的廃止を優先する、または有害性が高いと判断した活性物質が、現在貴社のサプライチェーンで広く使用されていますか？</p>	<p>「はい」の場合は1点 「URLで確認済み」の場合はさらに1点 「いいえ」の場合は0点</p>
<p>貴社は、サプライヤーが農薬の使用を減らし、農薬の非化学的代替品を採用することをどのように支援していますか？</p>	<p>2点まで</p>
<p>農薬の管理について、貴社として追加で記載したい情報があればご記入ください。</p>	<p>革新的で野心的なプロジェクトや目標、および/または、業界において強いリーダーシップを発揮している企業は、4点の得点が可能</p>